

# TERAJIMA ARCHITECTS

*For owners*

no. 009

## INDEX

SPECIAL  
子どもと暮らす家

CONSTRUCTION SERVICE  
メンテナンス部隊がゆく  
Vol.5 壁面塗装の資材編

EVENT INFORMATION  
おかげさまで、  
テラジマアーキテクツは  
2018年で60周年を迎えます!



杉並区 I様邸  
(2017年竣工)

# 子どもと暮らす家

## リビングやダイニングで過ごす 子どものための空間づくり



武蔵野市K様邸(2012年竣工)  
「リビングで勉強する子は成績がよい」という説を聞いたことがある方は多いかと思います。こちらはダイニング横にワークスペースを設けた例。造作収納と統一感を持たせたデザインですっきりと見せてています。



世田谷区O様邸(2013年竣工)  
個室を与えるには早い、という小さな子どもには、LDKの一角に壁を立てて、半個室型の子どもスペースをつくってはいかがでしょうか。こちらの邸宅では、将来大きくなったら壁を天井まで伸ばし、個室にリフォーム予定だそう。

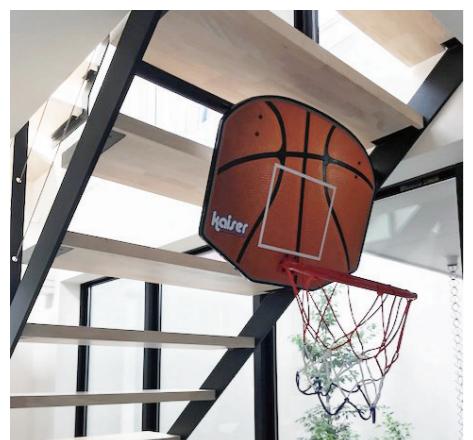
## 家でも体を動かせる！遊べる住まいのアイデア



大田区Y様邸(2014年竣工)  
LDKに沿う長いバルコニーには、大きめのハンモックをゆったりと吊りました。子どもが遊ぶだけでなく、大人が寛ぐのにも充分な大きさです。



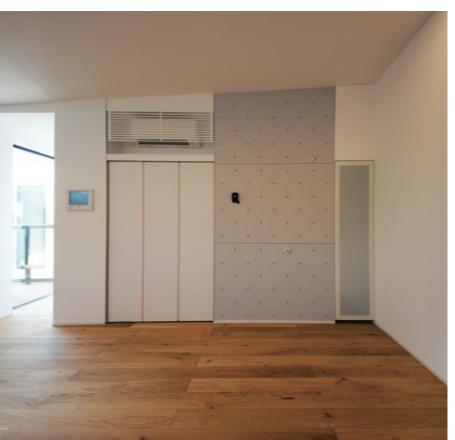
目黒区M様邸(2015年竣工)  
バルコニーのプランコは、窓越しにキッチンに立つママからその様子を見る能够ができる位置に。ママとおしゃべりしながら遊べる「特等席」、子どももきっとお気に入りのはず。



世田谷区N様邸(2015年竣工)  
階段に渡したバーは、元々ご主人の懸垂用(!)でしたが、今はバスケットゴールが設置され、兄弟みんなの遊び場になっているそう。



相模原市N様邸(2014年竣工)  
建物に囲まれた中庭は、テニスの練習場として大活躍。ボールが外に飛んで行く心配もなく、いつでも気兼ねなく練習が出来ます。



世田谷区M様邸(2016年竣工)  
リビングの一角に創ったグレーの壁はクライミングウォール。もちろん体重をかけても心配のないよう、補強をしっかり行っています。

家づくりや模様替えを考えるなら、共に暮らす子どもたちにとっても快適な空間にしてあげたい。子どもが小さいときは安全に過ごせる工夫や脳の発育に良いとされる環境づくり、大きくなればお友達を招いて楽しく過ごせる工夫や勉強・創作などプライベートな時間を快適に過ごせる間取りなど、子どもたちの年齢やライフスタイルに合わせて、必要とされる機能や間取りは変わります。

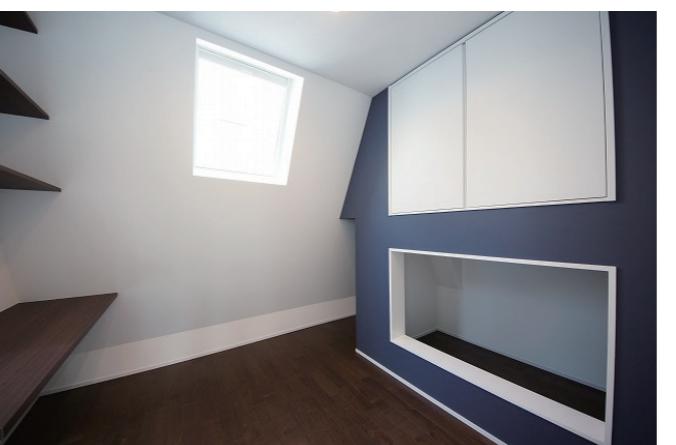
## 子どもの自立を促す 子ども部屋づくり



世田谷区O様邸(2016年竣工)  
男の子ふたりの部屋。間仕切りの戸を挟んでそろいの家具を左右対称にバランスよく配置されています。日頃勉強をするときには戸を閉めますが、一緒に遊ぶときには開放して広々と使うこともできるフレキシブルなレイアウト。  
成長とともに小物や書籍、思い出の写真などが並び、兄弟それぞれの個性が出てくるのが楽しいですね。



横浜市K様邸(2014年竣工)  
おさまの発育を促す色を活用するのはいかがでしょうか。窓から緑をのぞむシンプルで明るい空間に、ラベンダー色のアクセントクロスを貼って女の子らしく上品な雰囲気に仕上げています。ラベンダーは感性を研ぎ澄ます色。子どものクリエイティビティを引き出してくれるかもしれません。  
将来、色を変えたくても、クロスなら簡単に張替え可能です。



渋谷区N様邸(2016年竣工)  
自分のものをきちんと片づけて管理できるようになることは、自立の第一歩。わんぱくな男の子には、こんな秘密基地のような収納を作つてあげるのはいかがでしょうか。喜んでお片付けに取り組んでくれそうです。小さいうちは1階部分はマットレスを敷いてベッドに。大きくなったら追加の収納スペースとして使えます。



世田谷区M様邸(2015年竣工)  
壁面に黒板塗料を塗った例。時間割を書いたり、友達と絵を描いたりと毎日大活躍だそう。黒板と言えば黒色が一般的ですが、オレンジ色を採用したことでの印象は明るくなり子どもが過ごす空間に最適です。汚れたら上から黒板塗料を塗り直すことで綺麗な状態を取り戻すことができます。



## テラジマアーキテクツ コンストラクション・サービス メンテナンス部隊がゆく Vol.5 壁面塗装の資材編



テラジマアーキテクツのアフターメンテナンス・リフォーム部門は「コンストラクション・サービス」という名称に生まれ変わりました。

コンストラクション・サービスのメンテナンス部隊は、お住まいにとってかかりつけのドクターのような存在。ライフスタイルの変化による大がかりな改修から、お住まいの経年の変化に対応する修繕まで、日々オーナーの皆様の邸宅を訪問し、様々なご要望にお応えしています。

今回は壁面の塗装改修の塗材についてご紹介いたします！



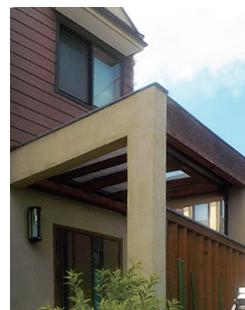
設計・監理  
井口 洋希

外壁や屋根などの外装部分は、10年を過ぎたあたりからどうしても劣化してしまうものです。  
最初はきれいだった壁も、気がつくと塗装の剥がれやくすみが出てくると気になってしまいますよね。  
そういう場合に壁面を塗り替える必要が出てくるかと思いますが、今回はどのメーカーの改修用塗材がより長く、きれいを保てるのかを紹介させていただきます。

AICA社 ジョリパットフレッシュ/JQ-800シリーズ(改修用)

新築の際にジョリパットを塗装していることが条件となります。  
改修用に弊社がおすすめしているのがこのシリーズです。  
こちらの塗材を多くのお客様がお選びいただいておりますが、  
この他にも遮熱効果が加わったジョリパットフレッシュケールや、  
紫外線による塗膜の劣化を抑え、より美観を長持ちさせることができる  
ジョリパットフレッシュ∞(インフィニティ)があり、  
ニーズに合わせた塗材をお選びいただくこともできます。

壁面の改修をご検討の方はぜひご相談ください。



▲塗装前と塗装後の違い。施工方法はローラー。

## Event Information

おかげさまで、テラジマアーキテクツは2018年で60周年を迎えます！



▲2017年8月に新しく開設した自由が丘オフィス

2018年でテラジマアーキテクツは60周年を迎えます。

現在では多くの建築家を擁する設計事務所+60年の実績を持つ工務店として、  
東京や神奈川での住まいづくりにおいて多くの方に認知していただけるようになりました。

60年に渡る実績をもとに、  
都市部ならではの住まいへのニーズを熟知した建築家たちが、  
「光と風」をテーマに、その場所において最も心地よく暮らせる住宅を一棟一棟デザインし、  
ご提案しております。

高い機能性と建築家によるモダンなデザインを両立した住まいのプランニングは、  
私たちが最も得意とするところです。

ここまで来れたのも、お客様をはじめとする多くの方々のご支援があってこそと、  
従業員一同、深い感謝とともに、今後も皆様のご期待に応えるべく、  
誠心誠意をもって住まいづくりに取り組んでまいります。

今後もイベント等の様々な形をもって、  
お客様1人でも多くの方の幸せな家づくりのお力になれれば幸いです。

TERAJIMA ARCHITECTS 株式会社テラジマアーキテクツ

駒沢オフィス  
青山オフィス  
自由が丘オフィス

東京都目黒区東が丘2-12-20  
東京都港区北青山3-13-12  
東京都目黒区自由が丘2-8-17



SNSも更新中です！

<https://www.terajima.co.jp>